
魔法戦士リリカル00

ダブルオークアンタ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法戦士リリカル00

【Nコード】

N39280

【作者名】

ダブルオークアンタ

【あらすじ】

小さな出会いから始まった運命の物語…

それはやがて全世界の存亡を賭けた戦いに広がる…

その小さな出会いは少年に何を齎すのか？

小さな出会いは少女にどのような変革が施されるのか？

そして……人類は平和な道を歩む事ができるのだろうか？

これは魔法少女リリカルなのはと機動戦士ガンダム00を混ぜた作品です。

シリアスな展開が多いですがその中で少年や少女達は大きく成長していきます。

まだ書き始めたばかりですが、これからどんどん書いていこうと思います。

あまり文章力の無い自分ですけどよろしく願います！

第0話（前書き）

出逢い……それは運命の始まりと終わり無き戦いの鐘が鳴る時……

第0話

とある少年はとある少女と出会う…

その小さな出会いはやがて全世界の存亡を賭けた戦いに広がってい

く…

人が想う時何故争いが生まれるのか？

争いを争いで無くす事が本当に正しい世界の在り方なのか？

そして…：人はいつ分かち合えるのか？

魔法戦士リリカル00始まります！

機動戦士ガンダム00ファーストシーズンの1期オープニング

♪ DAY BREAK 'S BELLY

ねえ…こんな形の出逢いしか無かったの？

悲しいね

貴方に死んでも殺めて欲しくも無い

…お願い

第0話（後書き）

どうでしたか？

まだ書き始めたばかりなのであまりわからない事ばかりですけど――
生懸命書いていこうと思います。

第1話（前書き）

ついに初めて出逢う二人…その時終わり無き戦いの運命の歯車が回り始める…

第1話

第97管理外世界

地球

某県海鳴市

この場所で終わり無き戦いの始まりとなる運命の出逢いが今まさに
始まろうとしていた…

??? side

???

「……………ここは…………？」

見わたす限り家が多い

ここは住宅街の中と言った方がいいか

そして、時間帯は夕暮れ時

だが、少年は困惑していた…

まず自分が誰なのか、そして何故ここにいるのか？

そしてここは何処なのか？

……………そう、彼は記憶喪失をしていた…

思い出そうにも思い出せない。

普通ならこの時点で大抵の人ならパニック状態に陥るはず…

けれど、彼にはかなりの落ち着きが見えた。

結局10分くらいしても何も思い浮かばなかった

しかしここにいても無駄なだけ…

とりあえず情報を知る為に住宅街を抜け、夜を迎えようとする繁華
街へと歩き出した。

繁華街へと向かう最中、動物病院の前を過ぎた辺りで遠くから走っ
てくる3人の少女達を見かけた。

その中の一人の少女が小さな動物を手のひらに乗せながら俺の横を通り過ぎて行った。

????

「あそこの病院だよ！なのは！」
なのは

「わかった！もう少しだけ我慢してね」
これが後の終わり無き戦いで出会う事になる少年と少女達の初めての接触になるとはこの時誰も分かる者はいなかった。

第1話（後書き）

どうでしたか？

さっそくなのはさんが登場です！

次回はついに初めて出逢う時…

まだ書き始めたばかりでやっとなわかってきた所です…

もっと良くしていきたいですけどまだまだですね…

では次回もお楽しみに！！

第2話（前書き）

なのはは出逢う

不思議な力を持った動物と…

そして、運命を感じる

少年とすれ違う時…

第2話

なのはside

私、高町なのはは私立聖祥大附属小学校に通う小学3年生です！

今日の朝変な夢を見て…その夢は森の中で小さな動物が大きな魔物にやられそうな夢だったのです。

そして、その日の夕方…私の友達の月村すずかちゃんとアリサ・バニングスちゃんと帰り道の公園を歩いていると……

すずか

「?…どうしたの、なのは?」

アリサ

「なのは?」

なのは

「ううん…何でもない…ごめんごめん…」

すずか

「だいじょうぶ?」

なのは

「うん!」

アリサ

「じゃあ行こう。」

なのは

「まさかね…」

そう、夢に出てきた森と同じ風景の場所だったのです。

そして、また歩いていると……

????

「助けて…」

なのは

「えっ」

どこからか助けを求める声が聞こえたのです。

なのは

「今何か聞こえなかった？」

私は二人に聞きました。

すずか

「何か？」

なのは

「なんか声みたいな」

アリサ

「別に…」

すずか

「聞こえなかった…かな…」

二人には聞こえなかったみたい…

でも私は昨日の夢の事もあり、とても無視はできないと思い周囲を見渡しました。

すると、また

???

「助けて…」

私は声のした方向に走り出しました。

アリサ

「なのは！」

すずか

「なのはちゃん！」

二人の声も無視するかのように一目散に走りました。

そして…林道の真ん中あたりに小さなフェレットが眠りながらぐったりと横たわっていました。

そう、夢に出てきたあの小さな動物と同じでした…

私は助けようと思いそのフェレットを手のひらに乗せようとする
とフェレットが目覚めたのです。

すると、フェレットの首輪に小さな赤いビー玉みたいなのが付いて
いました。

そつと手のひらに乗せると…

アリサ

「どうしたのよ！なのは！急に走り出して…」
すずか

「……！見て！動物怪我しているみたい」
なのは

「う、うん…どうしよう…」

アリサ

「どうしようって…とりあえず病院！」
すずか

「獣医さんだよ！」

なのは

「この近くに獣医さんってあったっけ？」

アリサ

「うーん…えつと…このあたりだと確か…」

すずか

「待つて…家に電話してみる」

そして、近くの動物病院へとすぐに連れて行きました。

幸いにも怪我をしただけで、命に別状はないと言われたので安心し
ました。

そして、その帰り道…

なのは

「……………」

アリサ

「どうしたのよ、さつきから
すずか

「今日のなのはちゃん、具合悪いの?」

なのは

「うっん…ただね…何かさつきからずっと感じてばかりいるの…」
アリサ

「感じているって?」

なのは

「うん…何か運命的な何かを…」
すずか

「いつから?」

なのは

「さっきのフェレットに出会った時もだし…それと…」

アリサ・すずか

「それと?」

なのは

「病院の前ですれ違ったあの人も…どちらかと言えば、あの人の方が強く何かを感じたの」

アリサ

「あのウェーブがかかった髪の毛で、何かアラブ人系の肌の色をした彼?」

すずか

「でもなんであんな人と…なのはちゃんあの人と知り合い?」

なのは「うっん…全然知らない人…」

この時からすでに何かしらの運命を感じていたのはであった。

??? side

???

「今のはいつたい…？」

何かを感じた…

俺の横を少女達が通り過ぎた途端に…

運命的な何かを…

言葉では言い表せない何かを…

俺が振り向くと少女達は動物病院へと入って行った…

俺はずっと見つめていた…

その少女達を…

第2話（後書き）

どうでしたか？

今回はなのはの視点から始まりました！

そして次回はいいに戦闘シーンへと突入します！

そして？？の素性がいいに明かされます

？？？となのはが初めて出逢う時運命が始まる…

お楽しみに！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3928o/>

魔法戦士リリカル00

2010年10月20日13時06分発行